第 24 章
豊後大野市名誉市民

豊後大野市では、「豊後大野市名誉市民条例」を制定しています。公共の福祉を増進し、又は学術若しくは技芸の進展に寄与し、その他社会文化の興隆に貢献した功績が卓絶で、市の誇りとして市民の尊敬を受ける方に、豊後大野市名誉市民の称号を贈り、長くその栄誉を称えます。



＜豊後大野市名誉市民　朝倉文夫＞

氏　　名　**朝倉（あさくら）　文夫（ふみお）**

生年月日　**明治 16（1883）年 3 月 1 日**

出 生 地　**上井田村（現豊後大野市朝地町）**

【略　歴】

明治16(1883)年

大野郡上井田村(現 豊後大野市朝地町)に生まれる

明治36(1903)年 20歳

東京美術学校(現 東京芸術大学)彫刻選科に入学

明治40(1907)年 24歳

同校彫刻選科卒業、卒業制作「進化」下谷区（現台東区）谷中天王寺にアトリエ新築

明治41(1908)年 25歳

第 2 回文展「闇」2 等賞（初出品最高賞）

明治42(1909)年 26歳

東京美術学校研究科修了

第 3 回文展「山から来た男」3 等賞（文部省買上）

明治43(1910)年 27歳

第 4 回文展「墓守」2 等賞（文部省買上）

明治44(1911)年 28歳

第 5 回文展「土人の顔(其二)」3 等賞(文部省買上)

大正1(1912)年 29歳

第 6 回文展「若き日の影」3 等賞（文部省買上）

大正2(1913)年 30歳

第 7 回文展「含羞」2 等賞

大正3(1914)年 31歳

第 8 回文展「いづみ」2 等賞

大正5(1916)年 33歳

文展審査員となる

大正8(1919)年 36歳

帝展審査員となる

大正10(1921)年 38歳

東京美術学校教授に就任

昭和1(1926)年 43歳

朝倉塾としての活動を開始する

昭和9(1934)年 51歳

アトリエを改築、朝倉彫塑塾とする

昭和19(1944)年 61歳

帝室技芸員となる

昭和22(1947)年 64歳

日本芸術院会員となる

昭和23(1948)年 65歳

文化勲章受章

昭和24(1949)年 66歳

日展常任理事となる

昭和33(1958)年 75歳

日展顧問となる

昭和36(1961)年 78歳

台東区名誉区民推戴

昭和39(1964)年 81歳

急性骨髄性白血症にて没する